

宮城県岩沼市 震災復興計画プロジェクト 大型商業施設『フーズガーデン玉浦 食彩館』建設事業 ～“玉浦輝け”、復興のシンボル目指す～

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県岩沼市では、沿岸部住民の集団移転とともに、内陸に3キロ入った玉浦地区に新しい街づくり計画が進行中です。

株式会社ラックランド[東京都新宿区／代表取締役社長:望月圭一郎]は、この新しい街に「生活便利施設」として建設される新業態スーパー『フーズガーデン玉浦 食彩館』の新築工事を受注、昨年基礎工事が完了し、躯体・外装工事に着手いたしました。震災4年目を間近に控え、新たな街の活性化拠点がいよいよその外観を現しました。



2014.12月.撮影



2015.3月.撮影

■新業態で目指す地域活性化

建築主の株式会社伊藤チェーン [宮城県柴田郡／代表取締役社長:伊藤 吉一] は県内に8店舗のスーパーマーケット「イトーチェーン」を展開している地元企業です。市が所有する敷地面積16,387㎡(約5千坪)の復興産業集積地域に出店する『フーズガーデン玉浦 食彩館』は、従来のスーパーマーケットの機能に加え、地元食材を扱う産直コーナーやフードコート、ふれあい広場や屋外イベントスペースなどを併せ持つ新業態店として注目されています。地域活性化や雇用促進などに寄与する仕組として、近隣の農家や漁業従事者などとの連携も重視、産直コーナーへの納入業者獲得のために個別面談や交渉に力を入れています。

■地域住民+県外からも集客を見込む

当施設は岩沼市震災復興計画に沿って、市の全面的なバックアップを得ています。敷地内には災害時の緊急用飲料水を備蓄した大型タンクも建設されました。テナントとして、ドラッグストアの「マツモトキヨシ」が決定している他、クリーニング店や銀行ATMも入居予定です。

県外からの集客に備え、駐車場の収容台数は204台、大型バスのスペースも確保しています。また、EV(電気自動車)充電スポットも設置する予定です。

ラックランドは1970年、冷凍冷蔵設備業としての創業以来、食品スーパーや飲食店、食品工場など「食」に関わる施設を中心に業務領域と営業エリアの拡大を図り、今では国内外で様々な商空間の設備・内装・建築を手掛ける企画制作会社に成長いたしました。45年の経験と実績を通して培った企画力・設計力・技術力を活かし、今後も被災地の街づくりに関わっていく所存です。

『Foods Garden TAMAURA(フーズガーデン玉浦) 食彩館』 建築概要

建設地： 宮城県岩沼市玉浦西4丁目1番1号、4号
建設主： 株式会社伊藤チェーン (CGCグループ加盟)
宮城県柴田郡柴田町槻木白幡 2-7-20 <http://www.itochain.com/>
着工： 2014年10月20日
竣工： 2015年初夏(予定)
敷地面積： 16,387.00㎡
延床面積： 5408.56㎡
設計監理： 株式会社ケークワイエト
施工： 株式会社ラックランド



完成イメージ

◇当プレスリリースに関するお問い合わせ先◇

株式会社ラックランド本社 総務部 / 広報担当： 榊原

TEL 03-3377-9331 mail / press@luckland.co.jp HP <http://www.luckland.co.jp>

物件担当： 総括本部 制作設計部 石塚 TEL 03-3377-9339

生活をもっと興味に溢れた。美味しい。楽しいものに

LIFE × LIFE

より健康に、もっと人間らしく

株式会社 ラックランド www.luckland.co.jp